

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

単位：円

事業名	①事業の内容 ②実績 ③効果検証	事業開始 年月日	事業完了 年月日	令和2年度 実績事業費	臨時交付金 充当額	国庫等 その他歳入	一般財源
子ども食事応援券事業	①臨時休業等に伴う子育て世帯の食事の負担軽減及び食料品販売・飲食業への消費喚起を目的に、食事（食料）購入券を18歳以下の子どもを持つ家庭に配布する。 ② 5,000円分を18歳以下の子ども1,851人に配布 ③新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校の臨時休校等により影響を受けた子育て世帯の食事への負担が緩和できた。また、風評被害により深刻な打撃を受けていた食料品販売・飲食業への消費喚起を図ることができた。今回の事業での直接的経済効果は、9,255,000円となった。	令和2年4月30日	令和2年10月16日	9,857,504	9,857,000	0	504
プレミアム商品券事業	①消費喚起を目的にプレミアム商品券（プレミアム率25%）を発行する。 ②商品券 5,000円の券を4,000円で販売（プレミアム率25%）、販売セット数15,977セット、販売金額63,908,000円、換金枚数79,670枚、換金金額79,670,000円 ③新型コロナウイルス感染症拡大により落ち込んだ町内での消費を喚起し、地域経済の回復を図ることができた。今回の事業での直接的経済効果は、79,670,000円となった。	令和2年6月12日	令和3年2月26日	80,245,095	4,337,000	75,908,000	95
GIGAスクール構想関連事業	①学習機会を確保するためGIGAスクール構想関連事業を実施するため、タブレット端末等を導入する。 ②東小学校（端末：316台 提示用機器：21台）、西小学校（端末：406台 提示用機器：23台）、中学校（端末：333台 提示用機器：25台）、教育委員会（端末：1台 提示用機器：1台） ③感染症等による休校措置等が行われた場合にも、端末を持ち帰ることで学習が可能となった。	令和2年10月21日	令和3年3月31日	80,835,040	52,509,000	28,260,000	66,040
GIGAスクール構想関連事業 (3人に2台分)							
マスク等必需物品供給事業	①新型コロナウイルス感染症に対応するためマスク等必需物品を購入し、町内の中学生以下の子どもに配布する。 ②マスク3,000枚配布、消毒用アルコール等感染対策備品を購入。 ③新型コロナウイルス感染予防に努めることができた。	令和2年4月1日	令和2年11月13日	2,275,076	2,275,000	0	76
緊急情報伝達のための町内放送設備の機能強化事業	①緊急情報を確実に伝達するため放送設備（放送塔）の機能強化を図る。 ②町内にある放送設備（放送塔）の機能強化を図ることができた。 ③町内一斉放送を活用して新型コロナウイルス感染拡大を防止することができた。	令和3年3月10日	令和4年3月2日	4,990,700	4,990,700	0	0
児童扶養手当受給者支援金事業	①子育てと仕事を1人で担う児童扶養手当受給世帯の負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、子ども1人当たり50,000円の支援金を給付する。 ②67世帯117人分 ③コロナ禍においてひとり親世帯の経済的支援を行うことができた。	令和2年6月23日	令和2年9月18日	5,850,000	5,850,000	0	0
出産支援事業	①不安を抱えながら出産した家庭の子育て支援と、同学年に生まれた子どもとの不平等解消のため、特別定額給付金の支給基準日以降に出生した子どもを対象に1人当たり10万円を支給する。 ②81名（交付金充当は77名） ③コロナ禍において子育て世帯の経済的支援を行うことができた。	令和2年4月28日	令和3年3月26日	8,100,000	6,600,000	0	1,500,000
中小企業者等事業継続支援金事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大で影響を受け令和2年1月～12月のいずれか1ヶ月の売上高が前年同月比20%以上減少した町内にある中小企業又は小規模事業者等に、事業全般に広く使える支援金を交付し、地域経済の下支えに繋がることを目的とする。 ②支給件数 181件 ③新型コロナウイルス感染症の拡大で影響を受けた町内中小企業者または小規模事業者の事業継続の一助となり、地域経済の下支えにつながった。	令和2年8月7日	令和3年3月29日	18,115,204	18,114,000	0	1,204

医療機関支援金事業	①医療現場で感染の危険と隣り合わせで治療を行う医療機関に対して、医療提供体制等の強化を目的として補助金を交付する。 ②補助件数 9件 ③コロナ禍において医療機関の負担軽減と感染症予防の強化を行うことができた。	令和2年9月16日	令和3年3月26日	4,500,000	1,500,000	0	3,000,000
避難所安全・安心確保事業	①避難所となる体育館での感染機会を削減するためには、扉を開けて頻繁に換気をする必要があるが、避難者が暑さ寒さにより体調を崩さないよう体調管理にも配慮する必要があるため、小中学校の体育館に空調設備を整備する。 ②里庄東小学校・里庄西小学校・里庄中学校の体育館に空調設備を新設した。 ③避難所における感染症対策を充実させることができた。	令和2年9月30日	令和3年9月30日	75,595,300	62,695,000	12,800,000	100,300
学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策のためのマスク等購入支援事業)	①学校再開に伴う感染症対策等に必要なマスク・消毒液・非接触型体温計等の物品を購入する。 ②東小100千円・西小120千円・中学校100千円 ③マスクや消毒液等を必要数購入し活用することで、学校でのクラスターの発生を抑えることができた。	令和2年8月7日	令和3年3月22日	3,820,000	1,910,000	1,910,000	0
学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策、学習保障等に係る支援事業)	①学校再開に伴う感染症対策等に必要な少人数教室用備品、3密対策に必要な物品等を購入する。また3密を避けるためバスの借り上げ台数を増やす。 ②東小1,000千円・西小1,500千円・中学校1,000千円 ③感染症対策を徹底することで、学校でのクラスターの発生を抑えることができた。						
防災備蓄倉庫設置事業	①避難所の運営において必要となるマスクや消毒液、ダンボールベッド、パーテーション等の新型コロナウイルス感染症に対応するための資材を備蓄する防災倉庫を避難所の敷地内に設置する。 ②東公民館・西公民館に防災備蓄倉庫を設置した。 ③避難所における感染症対策を充実させることができた。	令和2年10月22日	令和3年6月17日	6,516,620	6,491,300	0	25,320
水道事業会計繰出金	①新型コロナウイルス感染症の拡大で影響を受けた町内の水道利用者に対して、4月から9月までの6ヶ月分の基礎料金を免除するが、免除に係る費用について一般会計から公営企業へ繰出金として支出する。 ②一般家庭11,633件、企業等980件(件数は、実施した3期分の合計) ③全ての給水契約者が対象となっており、コロナ禍における家庭や企業の支援に繋がった。	令和2年4月1日	令和2年10月30日	26,578,860	26,578,000	0	860
インフルエンザ予防接種料金助成事業	①新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行の予防に備え、症状の見分けが付きにくいインフルエンザの感染を減らし医療現場の混乱を回避するため、予防接種料金を助成する。 ②65歳以上 2,415人、19~64歳 1,440人、13~18歳 270人 ③インフルエンザとの同時流行を抑えることができた。	令和2年9月19日	令和3年3月26日	17,228,495	17,225,000	0	3,495
避難所用備品等購入事業	①避難所での感染機会を抑制するためプライベートテント・簡易パーテーションを購入する。 ②プライベートテント 12台、簡易パーテーション 25台 ③避難所における感染症対策を充実させることができた。	令和2年12月18日	令和3年3月31日	415,250	415,000	0	250
				344,923,144	221,347,000	118,878,000	4,698,144